

2015年10月7日

トヨタ自動車東日本株式会社

新型シエンタ ウェルキャブ（福祉車両）車いす仕様車の寄贈について

トヨタ自動車東日本株式会社（本社:宮城県黒川郡大衡村中央平1番地 取締役社長:白根武史）は、東北に根ざす企業として地域に貢献することを目的とし、7月より本社・宮城大衡工場で生産を開始した新型シエンタ ウェルキャブ（福祉車両）車いす仕様車を、東北各県に1台ずつ（計6台）寄贈することを決定いたしました。

各県におかれましては、福祉施設やリハビリテーションセンターでの送迎車としてご利用いただく予定です。

当社では、実際にご利用いただくお客様の声をお聞きし、今後の車両開発にフィードバックすることにより、より魅力あるコンパクト車の開発へと繋げていきたいと考えております。

尚、各県への寄贈日程は、10月28日（予定）の宮城県をはじめとし順次計画しています。

【寄贈する 新型シエンタ ウェルキャブ（福祉車両） 車いす仕様車】

- ・ ウェルキャブ専用の助手席シートを採用。助手席シートを折りたたむことにより、運転席から手が届く1.5列目に車いすのまま乗車できます。
- ・ ウェルキャブ専用のセカンドシートを採用。介助の方が車いす乗車の方のすぐ隣に乗車できるので、移動中のケアも容易です。



以上